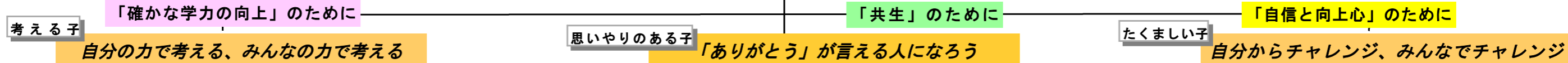


<p>◎教育目標</p> <p>考える子 思いやりのある子 たくましい子</p> <p>○目指す児童像</p> <p>(知) 自ら学び考え (徳) 互いを認め合い助け合う思いやりの心を持ち (体) 目標に向かって挑戦できる茂呂小の子</p>	<p>◇目指す学校像</p> <p>一人一人が目標に向かって主体的に挑戦し、躍動する学校</p> <p>◇教育課題・教育計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ① 考え表現する力の育成 ② 家庭学習づくり ・共生 <ul style="list-style-type: none"> ① 豊かな心と社会性の育成 ② 自己肯定感・自己有用感の向上 ・自信と向上心 <ul style="list-style-type: none"> ① 主体性の育成と自己実現 ② 健康づくりと安全力の向上 	<p>※努力点</p> <p>ア 児童が充実感とともに自己肯定感、自己有用感を高められるよう、一人一人が様々な役割を担う機会を通し、自信や意欲等、心を育てる教育活動を展開する。</p> <p>イ 「なぜ?」「なるほど」「次はこうしたい」を大切にし、児童が主体的に考えを深め、表現できるよう、「学び合い」を重視した授業改善を図る。</p> <p>ウ 温かさを基盤とする優しさと厳しさにより、児童が規律ある生活の大切さに気づき、責任と自律ある行動や、望ましい生き方を追求する態度を育てる。</p> <p>エ 学校と家庭との連携を深め、教育相談を組織的に展開し、保護者とともに児童の健やかな成長を目指し、いじめや不登校などを未然に防止する。</p>
--	---	--

学習と特別活動で「心」を育てる **「自分たちの学校は自分たちでよりよくする」**意識と行動



① 考え表現する力の育成

- 基礎基本の確実な習得
 - ・授業中の学習規律の徹底、ノート指導の徹底
 - ・一単位時間における基本的な「学び方」(学習の流れ)の習得
(めあて→自分で考える→みんなで考える→まとめ→振り返り)
※子どもの言葉を基にした「めあて」と「振り返り」
- 「主体的・対話的で深い学び」につながる「学び合い」の充実
 - ・「なぜ?」「なるほど」「もっとやってみよう」「次はこうしたい」を引き出す学びの充実
- 生活科・総合的な学習の時間における探究を意識した学びの実践
- ICT(一人1台端末)の効果的な活用による授業づくり
- 校内研修や学年・教科部会を核とした教職員全体の指導力向上
- N R Tや全国学力学習状況調査結果等の分析による授業の改善充実

② 家庭学習づくり

- 学習内容と学習習慣の定着を目指す、家庭学習(「宿題」)の工夫
- 自分で考えた学習計画に基づく自主学習の推進
 - ・「チャレンジノート」の取組、「チャレンジノート」紹介コーナー
- 読書活動の推進、新聞に慣れ親しむ展示コーナーの工夫

① 豊かな心と社会性の育成

- 互いに認め合い、一人一人のよさが輝く学級・学年経営の充実
 - ・児童一人一人が活躍できる場づくりと称賛
- 特別活動を核とした、温かで互いに認め合い、高め合える集団づくり
 - ・意思決定や合意形成の機能を生かした、よりよい集団づくり
 - ・児童の主体性を育む児童会活動の活性化
 - ・いじめ・不登校の未然防止
- 道徳科を要とした教育活動全体を通じた道徳教育
 - ・道徳科との関連を踏まえた、各教科・総合的な学習の時間・特別活動の意図的・計画的な取組

② 自己肯定感・自己有用感の向上

- 「ほめる」「認める」「励ます」ポジティブな行動支援
 - 一人一人が活躍できる場や機会の意図的・計画的な設定
- 集団の中で役割を果たし、仲間の役に立つ喜びの獲得
 - ・学級や学年、委員会、たてわり等の集団で役割を果たし、一人一人が集団(仲間)から必要とされている実感の獲得
 - ・ステ活など、小さなボランティア活動の推奨
- 思いを大切にしたい感動ある諸行事の効果的な展開
 - ・目的を明確にして児童会活動と連動し、児童が主体的に取り組み、魅力ある活動となるような学校行事等の推進

① 主体性の育成と自己実現

- エージェンシーを発揮した、学級会、係・当番活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり活動の充実
 - ・「自分たちの学校は自分たちでよりよくする」という意識と姿勢の育成
 - ・「自分(たち)はやればできる」という自信の獲得
 - ・「次は(さらに)こうしたい」という意欲の向上
- 夢や希望、思い、生き方を育むキャリア教育の推進
 - ・キャリア教育全体計画に基づいた実践
 - ・キャリアパスポート活用による定期的な振り返り
- 本物の「人・もの・こと」にふれる自然・社会・文化体験活動の充実

② 健康づくりと安全力の向上

- 「体力向上プラン」を基にした、運動することの楽しさや仲間とかかわる喜びの獲得
 - ・茂呂小オリンピック、外で遊ぼうデー等の実施
- 健康課題改善に向けた「学校保健委員会」等の取組
- 交通安全、防災(自然災害)等、危機回避能力の育成
- インターネットやSNS等の正しい使い方等の情報モラルの向上

望ましい行動(よりよい行動)を育て、増やすポジティブな行動支援の組織的推進

※集団や個の望ましい行動に着目し、その行動を引き出す具体的な支援と行動を定着させる「ほめる」「認める」「励ます」といったポジティブな支援により、望ましい行動を増やす取り組みを全校体制で推進する。

- すべての児童への発達支持的生徒指導としての行動支援
 - ・特別活動(学校全体・学級)、学び合いによる授業
- 個別支援を必要とする児童への行動支援
 - ・各学級、P-room、P-space、ほっとる〜む、通級指導教室
- 特別支援学級の児童への行動支援
 - ・きりのこ学級、たんぼぼ学級
- 多面的児童理解
 - 教育支援部会や学年会等の有機的な関連による多面的児童理解に基づく教職員の共通実践

地域とともにある学校づくりの展開

- 学校評価、学校評議員会の効果的活用
- 学校支援センターの充実
 - ・読み聞かせボランティアや大学生等ボランティアの積極的な活用
 - ・家庭科学習や龍頭神舞、書写指導等への地域人材やゲストティーチャーの活用
- 効果的な情報発信
 - ・学校だより、学年(学級)だより等による教育活動や子供たちの活躍の見える化
 - ・一中地区共同事務室の情報発信「事務だより」の発行
- ふるさと学習の実践を通して、地域を知り、地域への誇りの高揚
- 学府(一中地区連携推進協議会)による連携事業の推進

※子供たちと向き合う時間を確保し、より豊かな学びを届けるための「働きやすい環境の整備」(業務改善)

- 「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づいた、業務の在り方の不断の検討
- ICTの効果的活用(C4t h等の活用、ペーパーレス化の一層の推進等)
- 整理整頓された、清潔で気持ちの良い職場環境づくり(5S)